

大阪管区気象台から 西条市へ感謝状が贈呈されました

1978（昭和53）年から西消防署庁舎が新築移転するまでの間、旧西消防署（旧周桑消防署）敷地内に丹原地域気象観測所を設置し、気象観測に貢献してきたとして、大阪管区気象台から西条市へ感謝状が贈呈されました。



◀ 6月15日（金）、大阪管区気象台長代理として、松山地方気象台長の垣内吾郎氏から西条市長へ感謝状が手渡されました。

南海地震発生を想定に 抜き打ちで職員緊急参集訓練を実施

市では大規模災害時における動員体制の周知徹底を図るため、6月27日（水）に南海地震発生を想定した市職員の緊急参集訓練を抜き打ちで実施しました。

訓練は、午前6時28分に高知県室戸沖を震源とするマグニチュード8.4（市内では震度6弱）の地震が発生したことを想定に行われ、緊急電話連絡網で訓練を知らされた職員は、それぞれの持ち場へ駆け付けました。

午前7時45分には緊急災害対策本部会議が行われ、各職員の参集状況などが市長に報告されました。会議開始時までに参集した職員は、対象職員1,205人のうち、899人（74.6%）でした。

市では今回の訓練をもとに課題を検証し、災害時におけるより迅速な初動体制の確立を図ってまいります。



京都大学国際シンポジウム 「人間の安全保障のための地球環境学」

西条市実践防災の取り組みを発表



「人間の安全保障」の根幹は「環境の持続可能性」の確保であり、そのためには、自然科学・社会科学の諸学の成果を統合した地球環境学の生成と発展が不可欠であるという理念のもと、6月22日（金）・23日（土）に京都大学で第9回目となる国際シンポジウムが開催されました。

シンポジウムには西条市長と市職員が参加し、国内外から招かれた多くの専門家・実務家とともに、人類社会の最重要課題となっている地球環境問題とそれに対処するため

の新たな学術の統合・発展に向けた活発な論議を交わし、政策的な提言も含めて世界へ向けて発信しました。

「フィードバックとコミュニケーションから考える」と題した第3分科会では、西条市長が「西条市における市民参加型地域防災の取り組み」と題して発表を行い、地球環境や暮らしの安全をめぐる今日的な問題に対して、「地域」と「人」に根ざした取り組みを実践している当市の事例を紹介し、内外に大きなインパクトを与えることができました。

みんなで参加！ みんなで体験！ 西条市総合防災訓練を実施します

東消防署管内

日時 9月9日（日） 8時30分～11時30分

場所 西条東中学校グラウンド

西消防署管内

日時 8月26日（日） 8時30分～11時30分

場所 東予東中学校グラウンド

訓練内容

- 避難訓練
- 初期消火訓練
- 仮設トイレ設置訓練
- 救出搬送訓練
- 土のう作成訓練
- 災害ボランティア参加訓練
- 応急救護訓練
- 避難所開設訓練
- 炊き出し訓練 ほか

【体験・展示コーナー】

煙ハウス、AED、特殊車両の紹介、防災グッズ展示、非常食試食関係機関による啓発・展示など

注意事項

○参加をされる方は、避難を想定して、なるべく徒歩・自転車などでお越しください。

○雨天の場合は規模を縮小して、体育館で実施します。